

釧路市授業マイスター 「釧路市が目指す授業」実践レポート



令和6年11月20日細野歩先生（鳥取西中）



鳥取西中学校の細野歩先生は、中学校2年の社会科の授業で、目標を「日露戦争について起こったきっかけや国際関係を捉え、日本がロシアに勝利した理由について資料を基に表現した上で、日露戦争の是非を自分の言葉で他者へ伝えることができる」と設定しました。集団思考時に「バルチック艦隊の航路」の資料を基に、航路の長さや日英同盟とのつながりについて見いだすようファシリテートの工夫をしていました。



令和6年11月26日谷口敬太先生（芦野小）

芦野小学校の谷口敬太先生は、小学校2年の体育科の授業で、目標を「マットワールドを選んで、マットに背中や腹などをつけていろいろな方向に転がったり、手や背中で支えて逆立ちをしたりして遊ぶことができるようにする」と設定しました。集団思考時にモデルとなる児童に実演させながら、うまくできるようにするためのポイントについて見いだすようファシリテートの工夫をしていました。

事後研後に行われた授業マイスター交流会では、目標達成に向かう授業にするために、次の部分に気を付けて授業づくりをしていくことの重要性が確認されました。

- ① 教師の説明は減らしても、ファシリテートの言葉がけは減らさず、思考を促すよう働きかけること
- ② 集団思考を一部の子供の発表で進めるのではなく、できる限り多くの子供を巻き込んで進めること
- ③ 学んだ過程を板書などに視覚的に残し、全ての子供が学びの過程を振り返ることができるようにすること



釧路市授業マイスターの授業実践は、左のQRコードからご視聴いただけます。
また、右のQRコードの「釧路市授業交流クラスルーム」では、日常の授業づくりに関わる質問等を随時お寄せいただいております。皆様からの投稿をお待ちしております。

